

1 次の文の主語と述語を書きましよう。

① 妹が、大きくうなづく。

主語(妹が) 述語(うなづく)

② 桜の花が、校庭にはらはらと散りました。

主語(花が) 述語(散りました)

③ わたしは、母の作ったすてきなゆかたを着た。

主語(わたしは) 述語(着た)

2 次の各文の①～⑥の——線に対する主語を()に書きましよう。

・わたしは、弟が宿題もせずに居間でテレビを①見ている姿を②見て、

「宿題をしてから、テレビを見なさい。」

と、声を③かけた。

・「雨は④止んだが、風はまだ⑤強いので、みなさん気を付けて帰きなさい。」

と、先生が⑥おっしゃった。

- ① 弟が
② わたしは
③ わたしは
④ 雨は
⑤ 風は
⑥ 先生が

3 次の文の——線の言葉を修飾している言葉を、二つずつ選んで書きましよう。

① わたり鳥が、近所の大きな公園から飛び立っていききました。

(近所の) (大きな)

② わたしは、いつまでも、じっと立っていました。

(いつまでも) (じっと)

③ 朝会で、校長先生のお話をしっかりと聞く。

(お話を) (しっかりと)

4 〔例〕にならって、二つの文が同じ意味になるように、()に言葉を書きましよう。

〔例〕
・松本さんは、静かに話す。
・松本さんは、(静かな)話し方をする。

① 庭にきれいなひまわりの花が、さいている。

庭にひまわりの花が、(きれいに)さいている。

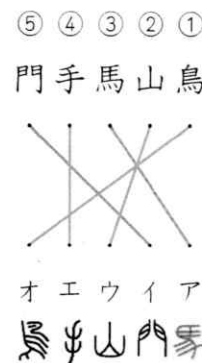
② 図工の作品が、先生に高く評価された。

図工の作品が、先生の(高い)評価を受けた。

③ わたしは、姉とおいしいケーキを作った。

わたしは、姉とケーキを(おいしく)作った。

1 次の漢字は、目に見えるものの形を具体的にえがいてできました。もとになっている絵文字をア～オから選んで、——でつなぎましょう。



2 次の文は、目に見えない事がらを、印や記号を使って表した漢字の由来を説明しています。あてはまる漢字を□から選び、()に書きましょう。

- ① 基準になる線の上に印をつけた。 (上) (下) (本) (木)
- ② 木の根元に印をつけた。 (上) (下) (本) (木)
- ③ 一定の位置からものが落ちることを表した。 (上) (下) (本) (木)

3 次の漢字は、漢字の意味を組み合わせてできました。例にならって、もとになっている漢字二字を書きましょう。

(例) 鳴 → (口) と (鳥)

- ① 男 → (田) と (力)
- ② 動 → (重) と (力)
- ③ 信 → (人) と (言)

4 次の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせられてできています。音を表す部分を () に、意味を表す部分を □ に書き、さらにどんな意味を表すかを □ から選んで、() に記号を書きましょう。

(例) 粉 音 (分) 意味 [米] …… 小さいもの

- ① 板 音 (反) ・意味 [木] …… (ウ)
- ② 清 音 (青) ・意味 [シ] …… (ア)
- ③ 花 音 (化) ・意味 [ハ] …… (イ)

ア 水
イ 植物
ウ 木や木製の物

5 下の□の漢字を①～④の四種類に分けましょう。また、①から④の成り立ちからできている漢字のよび方も書きましょう。

① 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。 (象形 文字)

(月 川)

② 目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。 (指示 文字)

(中 一)

③ 漢字の意味を組み合わせたもの。 (会意 文字)

(好 位 林)

④ 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。 (形声 文字)

(銅 板 悲)

中 位
月 川
好 銅
一 板
林 悲

1 次の文のうち、敬語を使っている文はどちらでしょうか。それぞれ記号を書きましょう。

① ア 校長先生が、全校朝会で話をする。
イ 校長先生が、全校朝会でお話しになる。

イ

② ア 先生は、もう家に帰った。
イ 先生は、もう家に帰られた。

イ

③ ア 父の会社の人に、旅行のおみやげをもらった。
イ 父の会社の人に、旅行のおみやげをいただいた。

イ

2 次の文をていねいな言い方に改め、全文を書き直しましょう。

① わたしは、ゆう子さんの意見に賛成だ。

わたしは、ゆう子さんの意見に賛成です。

② さとしさんは、夏休みに海に行った。

さとしさんは、夏休みに海に行きました。

3 次の文はどのような言い方になっていますか。□から選んで、記号を書きましょう。

① お客様がいらっしゃった。

ア

② お客様をお見送りする。

イ

ア 相手の動作に敬語を用いて、うやまう気持ちを表す言い方。
イ 自分の動作をけんそんしていうことで、相手に敬意を表す言い方。

4 線の部分を「先生」に変え、敬語の種類を考えながら適切な文に書き改めましょう。

(例) 友達が、ぼくの家に来る。→先生が、ぼくの家にいらっしゃる。

① 兄は、先ほど学校に戻った。

先生は、先ほど学校にお戻りになった。

② 友人から手紙をもらった。

先生から手紙をいただいた。

③ 電話でしゅう子さんの予定を聞いた。

電話で先生の予定をうかがった。

④ 山本さん、昨日は何時に起きたの。

先生、昨日は何時に起きられたのですか。

1 次のつなぎの言葉のはたらきを下の から選び、記号を書きましょう。

- ① しかし (イ)
② だから (エ)
③ さて (ア)
④ また (オ)
⑤ なぜなら (ウ)

ア 話題を変えて続ける。
イ 前の事がらと反対の事がらを後に続ける。
ウ 前の事がらの理由があとに続く。
エ 前の事がらを理由として、後に結果が続く。
オ 前の事がらに後の事がらを付け加える。

2 次の文の () にあてはまる言葉を から選んで、書き入れましょう。

- ① わたしは、駅まで急いで走った。(しかし)、電車に乗りおくれってしまった。
それで、しかし、つまり、ところで

- ② 和成さんは、スポーツが得意です。(そのうえ) 歌も上手です。
そのうえ、けれども、だから、あるいは

- ③ 私は本を読むのが好きだ。(だから)、図書委員になった。
なぜなら、だから、そのうえ、しかし

3 文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に書きかえましょう。

〔例〕雨が降ってきたし、風も強くなった。

(雨が降ってきた。また、風も強くなった。)

- ① 季節は春になったが、まだまだ夜は寒い。

季節は春になった。しかし、まだまだ夜は寒い。

- ② 雨が降ったので、ハイキングは中止になった。

雨が降った。だからハイキングは中止になった。

4 次の 線のつなぎ言葉に続く文を考え、() に書きましょう。

- ① 昨日は、おそくまで試験勉強をしていた。だから、

今朝はとてもねむい。

など

- ② マラソン大会では、一生けん命に走った。しかし、

優勝はできなかった。

など

同じ読み方の熟語や漢字

○**めあて** 同じ読み方をする熟語や漢字を、文に合わせて使い分ける。

① こうじさんの意見を

（○） 支持
（ ） 指示
する。

② 友達との

（再会）
（再開）
を喜^いぶ。

③ 博物館で、昔の船を

（ ）
（ ）
航海 公開
する。

①
イガイ

ア 宿題が（意外）に早く終わった。

イ 私の家族は、弟（以外）みな九月生まれた。

② ショウメイ

ア 無実を（証明）する。

イ 教室の（照明）を消す。

ア 兎■館の目の前に●★▲がある。

イ 車に気を付けて▲差点をわたる。

ウ運■会で特別●をもらった。

工音★の授業で元気よく歌う。

童	■	
小	●	ア
学	★	
校	▲	
交	▲	イ
動	■	ウ
賞	●	
楽	★	エ

☆チャレンジ

ア 十分に反■しているので、次回の活やくに●待をする。

イ食●を落としてこわしてしまった。

新たな目▲をしつかりと立てる。

工 ■活に関するアンケートを▲にまとめて、●録する。

省	■	ア
期	●	
器	●	イ
標	▲	ウ
生	■	エ
表	▲	
記	●	

1 和語・漢語・外来語について説明した番号を
それぞれどれに当たるか考え、記号を書きましよう。
から選び、 の言葉が

和語……説明(③)言葉(ウ カ キ)

漢語……説明(①)言葉(イ オ ク コ)

外来語……説明(②)言葉(ア エ ケ)

- ① 古くに中国から日本に入った言葉で、音読みをする。改まった文などで多く使われる。
② 世界のさまざまな国から入ってきた言葉で、ふつうは片仮名で書き表す。
③ もともと日本にあった言葉で、訓読みをする。

ア カ	ジュース 歌声	イ キ	混雑 ふるさと	ウ ク	青空 帰省	エ ケ	ボール サイン	オ コ	開始 初夏
--------	------------	--------	------------	--------	----------	--------	------------	--------	----------

2 漢語の読み方を()に和語の読み方を()に書きましよう。

(例) 生物(セイブツ)・(いきもの)

① 年月(ネンゲツ)・(としつき)

② 色紙(シキシ)・(いろがみ)

③ 草原(ソウゲン)・(くさはら)

3 次の文の——線の言葉を、<の形に変えて、全文を書き直ましよう。

(例) 待ち合わせにちこくした理由を話す。<和語>
(待ち合わせにおくれた わけを話す。)

① テニスの試合で、新品のボールを使用する。<和語>

テニスの試合で、新しい球を使う。

② クラスのめあてをみんなで決める。<漢語>

クラスの目標を全員で決定する。

☆チャレンジ

次の熟語の、漢語と和語のそれぞれの意味を、国語辞典で調べましよう。

① 見物	ケンブツ (物や景色などを見ること)	()
	みもの (見るねうちのあるもの)	()
	ショニチ (物事をする最初の日)	()
② 初日	はつひ (一月一日の朝にのぼる太陽)	()

同様の意味であればよい。

1 ———— の漢字の読みがなを書きなさい。

③	色調 (しき)	黄色 (い)	三色 (しよく)
	(しき)	(いろ)	(しよく)
②	守る (まも)	守備 (しゆ)	留守 (す)
	(まも)	(しゆ)	(す)
①	名前 (な)	名人 (めい)	本名 (みよう)
	(な)	(めい)	(みよう)
④	直に (ただ)	正直 (じき)	日直 (ちよく)
	(ただ)	(じき)	(ちよく)
⑤	治る (ち)	政治 (じ)	完治 (ち)
	(ち)	(じ)	(ち)
⑥	競う (き)	競馬 (けい)	競争 (きよう)
	(き)	(けい)	(きよう)

2 次の言葉の () の読み方以外の読み方を書きなさい。

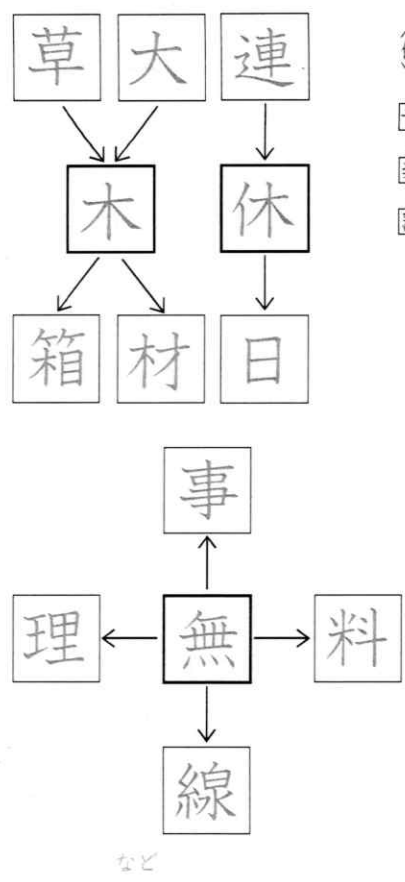
- ① 今日 (こんにち) (きよう)
- ② 昨日 (さくじつ) (きのう)
- ③ 上手 (うわて) (じようず)
- ④ 一日 (いちにち・いちじつ) (ついたち)

3 特別な読み方をする ———— 線の言葉の読み方を書きなさい。

- ① 二人の友情は永久に変わらない。 (ふたり)
- ② 八百屋でだいこんとにんじんを買う。 (やおや)
- ③ デザートに果物を食べる。 (くだもの)
- ④ 迷子の世話をする。 (まいご)
- ⑤ 川原 (河原) で、キャッチボールをする。 (かわら)
- ⑥ 一月二十日が姉の誕生日だ。 (はつか)

☆チャレンジ
例にならって、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ熟語を作りましょう。

(例) 音 → 楽 → 器



- | | |
|-----------------|-------------------|
| <p>② アンケートに</p> | <p>① 文章のまちがいを</p> |
| <p>○</p> | <p>○</p> |
| <p>回答</p> | <p>習性 修正</p> |
| <p>する。</p> | <p>する。</p> |

する。

2 次の各文の（ ）には、どの漢字を使った言葉が適切でしょうか。

- ①

 - ・じしゃくのはりが北を（指す）。
 - ・カーテンのすき間から光が（差す）。
 - ・はばとびの記録を（測る）。

②

 - ・往復にかかる時間を（計る）。
 - ・一リットルの水の重さを（量る）。

③

 - ・やさしくされて、きげんを（直す）。
 - ・病院に行つて病気を（治す）。

直す 治す

量る
計る
測る

指す 差す

3 次の文の——線の言葉を漢字を使って直しましょう。

- ①

 - 先生のまわりに集まる。
 - 工事のためにまわり道をする。

②

 - みんなのセントウに立って歩く。
 - 家族でセントウに行く。

③

 - あついお茶を入れる。
 - あつい辞書で調べる。
 - 日本の夏はあつい。

—

U

U

U

U

4 同じ読み方の漢字を使って、短い文を作りましょう。

- | ② | | | | | | | ① |
|------------|----|-----------------|--|-------------------|--|-------------|----|
| 測る | 計る | | | 公演 | | | 公園 |
| 保健室で身長を測る。 | | 五十メートル走のタイムを計る。 | | 私は母とバレエの公演を見に行った。 | | 私は友達と公園で遊ぶ。 | |

1 次の□の中の複合語は、①～⑥のうちのどの組み合わせに当たるかを考え、種類ごとに分類し、記号を（ ）に書きましょう。

①	和語＋和語	ア	カ	
②	漢語＋漢語	イ	ケ	サ
③	外来語＋外来語	ウ	ク	
④	和語＋漢語	オ	キ	タ
⑤	和語＋外来語	シ	ソ	ツ
⑥	漢語＋外来語	エ	コ	ス
				セ

ア 正夢
イ 輸入品
ウ ビデオカメラ
エ ビデオ教室
オ 雪合戦
カ 昼休み
キ 恩返し
ク レモンジュース
ケ 工事現場
コ 五十メートル
サ 新入生
シ 紙コップ
ス 手芸クラブ
セ テレビ放送
ソ スープ皿
タ そろばん教室
チ 消費税
ツ ボール投げ

2 〔例〕にならって、次の複合語の読み仮名を（ ）に、元の言葉を（ ）に、ひらがなで書きましょう。

〔例〕白波（しらなみ） （しろ）＋（なみ）

- ① 雨雲（あまぐも）――→（あめ）＋（くも）
② 風車（かざぐるま）――→（かぜ）＋（くるま）
③ 船旅（ふなたび）――→（ふね）＋（たび）

3 次の複合語が国語辞典にのっていないなかった場合、どんな言葉を引いてその複合語の意味を考えたらいいでしょうか。

〔例〕持ち運ぶ――→（持つ）と（運ぶ）

- ① ね苦しい （ねる）と（苦しい）
② 取り計らう （取る）と（計らう）
③ しのび寄る （しのぶ）と（寄る）

4 次の複合語を使って、短い文を作りましょう。

〔例〕受け取る

母からの手紙を受け取る。

① 引き返す

忘れものを取りに家に引き返す。

② 飛び上がる

白鳥が空に飛び上がる。

③ つまみ出す

あめ玉をびんからつまみ出す。

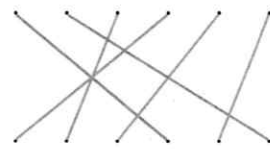
1 次の慣用句の意味に合うものを、下から選んで——線で結びましょう。

- | | |
|------------|-----------------------|
| ① きまりが悪い | おそれやおどろきで、思わず息を止めること。 |
| ② 言葉をにごす | うっかりと言ってしまふこと。 |
| ③ 口がすべる | 恥ずかしいこと。ばつが悪いこと。 |
| ④ 息をのむ | はつきり言わずに、あいまいにすること。 |
| ⑤ 鼻にかける | あとのことが心配で、心残りである。 |
| ⑥ 後ろ髪を引かれる | 自まんして得意になること。 |



2 次の①～⑥につながる言葉を、下から選んで、——線で結びましょう。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 私の兄は近所で、 | へそを曲げる。 |
| ② あなたのがんばりには、 | 顔が広い。 |
| ③ 先生の話に、 | 歯を食いしばる。 |
| ④ 今度の連休に沖縄に行くという話に | 頭が下がる。 |
| ⑤ 母にしかられ、 | むねをおどらせる。 |
| ⑥ 辛い練習に、 | 耳をかたむける。 |



3 次の慣用句を使って、短い文を作りましょう。分からない場合は辞書を引いて調べましょう。

① 頭をはなれない

昨日の出来事が頭をはなれない。

② かたを落とす

サッカーの試合に負けてかたを落とす。

☆チャレンジ

国語辞典を使って、体の部分の名前を用いた慣用句とその意味を調べましょう。

慣用句	意味
(例)目をかける	かわいがって、めんどうを見ること。
口がかたい	言っではいけないことを決して言わないこと。 など